

反原発自治体議員・市民連盟関西ブロック発足の集い

関西自治体議員・市民の力で 若狭の原発再稼働を止めよう！



今秋以降に関電が再稼働を狙う大飯原発3、4号機

◆記念講演

「なぜ、『原発で若狭の振興』は失敗したのか」

山崎隆敏氏（元越前市議会議員）

◆報告

福島第一原発事故と大熊町の被害の実態

木幡ますみ氏（福島県大熊町議会議員）



◇原発立地・周辺自治体議員、市民の挨拶

今大地晴美(敦賀市議会議員)・木原壯林(若狭の原発を考える会)他

●日時: 7月23日(日) 午後2時～4時半(1時半開場)

●会場: 高槻市立生涯学習センター・3階研修室

高槻市桃園町2-1 (JR高槻駅・阪急高槻市駅 徒歩10分) 問合せ 072-674-7700

★資料代 500円



—山崎隆敏氏プロフィール—

1949年生まれ。越前市在住。95年から11年にわたり今立町議、越前市議。チェルノブイリ事故を機に原発の危険性を訴える活動を本格化。

『生き残れない原子力防災計画』など著書多数。講演会活動のほか、常時ツイッター(@kodomo_mirai)でも発言。右は新刊本『なぜ、「原発で若狭の振興」は失敗したのか』



【呼びかけ】手塚たかひろ枚方市議・木村真豊中市議・山下慶喜茨木市議・高木隆太高槻市議・戸田ひさよし門真市議・増田京子箕面市議・杉谷伸夫向日市議・山田みすず八幡市議・北上哲仁川西市議・大津留求伊丹市議・よつや薫西宮市議・是永宙高島市議・二木洋子前高槻市議・木原壯林(若狭の原発を考える会)・佐藤英行北海道岩内町議・のぐち英一郎鹿児島市議・けしば誠一東京都杉並区議

連絡先: 反原発自治体議員・市民連盟 東京都杉並区高井戸東3-36-14-301, 電話&fax03-5936-0311
問い合わせ: 090-6062-3764(二木洋子), 090-5497-4222(けしば誠一)

関西の水と自然を守るために、若狭の原発再稼働を止めよう！

関西電力（以下、「関電」とする）は5月17日、高浜原発4号機を再稼働し、続いて6月6日、3号機を再稼働しました。原子力規制委員会はすでに、大飯原発3号機と4号機についても合格したことを示す審査書を正式に決定しました。これを受けて関電は今秋再稼働に向け準備をしています。

若狭湾には原発が、関電の7基(高浜原発1, 2, 3, 4号、大飯原発3, 4号, 美浜原発)に加え、日本原電などを含めると15基(廃炉予定も含む)が並びたっています。関電は近い将来、大飯原発1, 2号機の「60年延長」をも狙っています。この2～3年以内に若狭の原発が次々と稼働する危機的な状況にあります。

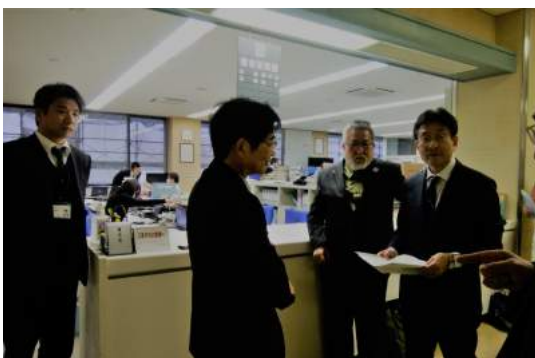
大飯原発4基と高浜原発4基は13kmと近接しており、同時に事故がおこれば、福島第一原発事故をこえる空前の大惨事となることはあきらかです。関西の水がめ＝びわ湖が放射能に汚染され、1,450万人の飲み水が奪われる危険に直面しています。

この重大な状況を前に、高浜原発の再稼働を阻むために、関西の自治体議員と市民の相談会を重ね、高浜原発立地と周辺自治体に対し、全国自治体議員260名の請願・要請行動を実施しました。マスコミも大きく報じ、原発立地の脱原発議員を励まし、連携を強めることができました。今後、若狭の原発を止めるために、原発立地自治体議員と結ぶ「反原発自治体議員・市民連盟関西ブロック」を発足する運びとなりました。

ドイツやベルギーに続き、台湾、韓国も脱原発に踏み出しました。福島を忘れず、次の世代に原発のない社会を遺すために、“原発反対”の一点で連帯する輪を拡げたいと願うものです。お気軽にご参加ください。



5月11日、8名で福井県庁へ。高浜原発再稼働の見直しを求め、福井県知事に、全国自治体議員259名連名で申し入れ。新聞やテレビの取材を受け報道される。



3月21日、高浜原発30キロ圏9自治体に3班に分かれ請願。上はおおい町長への申し入れ。



4月27日、関電本店抗議行動に700名が集い、反原発自治体議員・市民連盟も発言。



4月18日、関西自治体議員の代表が全国自治体議員260名の連名で関電に対し申し入れ。